

【担当教員名】 江原義弘, 大西秀明, 佐藤成登志, 久保雅彦 大山峰生, 濱口豊太, 能登真一, 桐本光		対象学年 2	対象学科 理学
		開講時期 後期	必修・選択 必修
		単位数 2	時間数 60
【概要】 視覚および各種計測機器を用いて身体運動を計測, 分析, 記載する能力を修得する。			
【学習目標】 1. 動作分析装置を利用して計測した生体運動を分析することができる。 2. 分析した身体運動を適確に説明できる。 3. 関節トルクを計測できる。 4. 筋収縮と関節トルクとの関係を説明できる。 5. 筋電計を用いて動作時の筋活動を正確に計測できる。 6. 筋電図を解析し, その結果を説明できる。 7. 行動医学介入法(ストレス, リラクゼーション, マインドフルネス)を説明できる。 8. 行動変容の脳内機構, 生態学的経時的評価法を説明できる。 9. 脳のラテラルリティを理解し, それを実験で確かめることができる。 10. 注意や記憶といった認知機能を測定することができる。 11. 運動学習・運動制御について説明できる。			
回数	授業計画又は学習の主題		担当教員
1-5	課題Ⅰ		江原・久保
6-10	課題Ⅱ		大山・桐本
11-15	課題Ⅲ		大西
16-20	課題Ⅳ		濱口
21-25	課題Ⅴ		能登
26-30	課題Ⅵ		佐藤
	課題Ⅰ：三次元動作分析 課題Ⅱ：関節角度と関節トルクとの関係 課題Ⅲ：筋電図計測・解析 課題Ⅳ：ストレスと運動負荷時の心身機能解析(心埋指標・心電図・発汗計測) 課題Ⅴ：ラテラルリティの判別と記憶範囲の測定 課題Ⅵ：観察による動作分析 ○5名で1班を構成して実習を行う。 ○5班で1グループ(25名)を構成する。		
【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞
教科書	6ステップ臨床動作分析マニュアル. 文光堂, 2005年		¥5200
参考書			
その他の資料	別途連絡する.		
【評価方法】 実習態度, レポート, 口頭試問		【履修上の留意点】 Tシャツ・短パンの上にジャージ等を着用して授業に参加すること。 実習に対する予習を十分に行ってくること。	